

定期作況報告

令和元年6月
(6月20日現在)



北見農業試験場

1. 気象経過

5月下旬：最高気温は平年より極めて高く、最低気温は平年より極めて高く、平均気温は平年より極めて高かった。降水量は平年より多かった（平年比199%）。日照時間は平年並であった（平年比109%）。

6月上旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年よりも高く、平均気温は平年並であった。降水量は平年よりもやや多く（平年比126%）。日照時間は平年よりもやや少なかった（平年比64%）。

6月中旬：最高気温は平年並み、最低気温、平均気温はともに平年よりやや低かった。降水量は平年並であった（平年比103%）。日照時間は平年並であった（平年比101%）。

以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は、気温はやや高く、降水量はやや多く、日照時間は平年並であった。

気象表

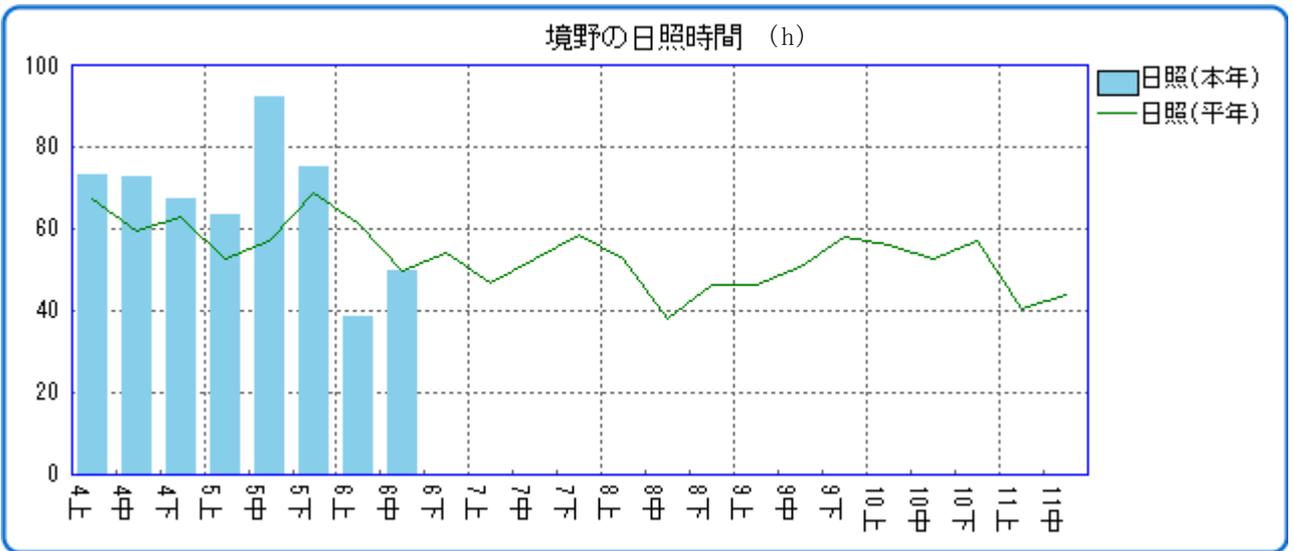
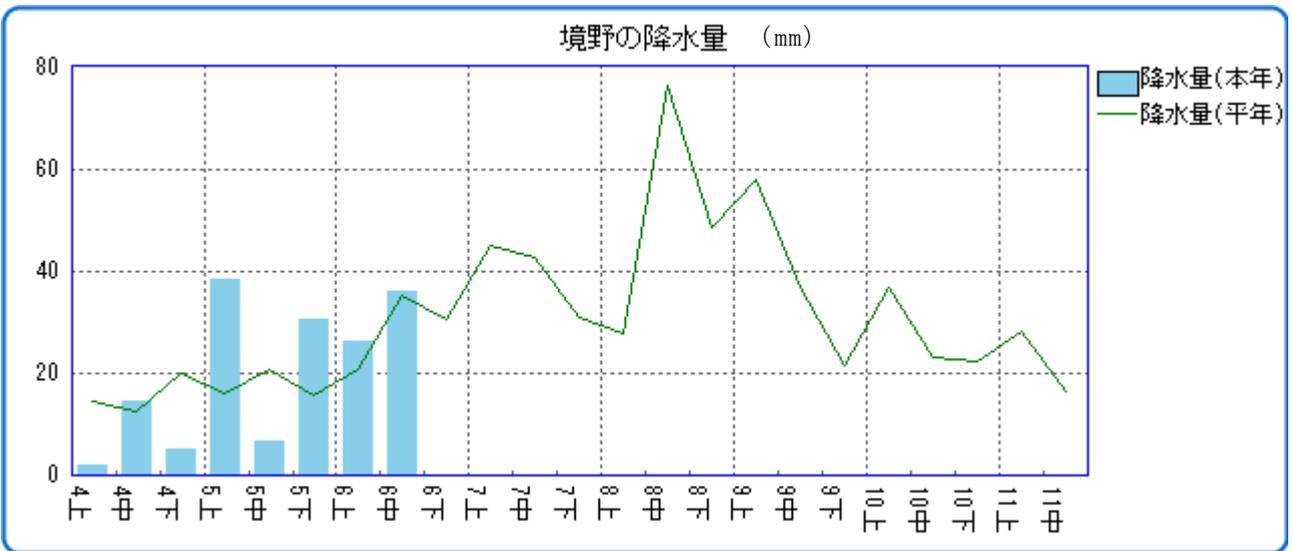
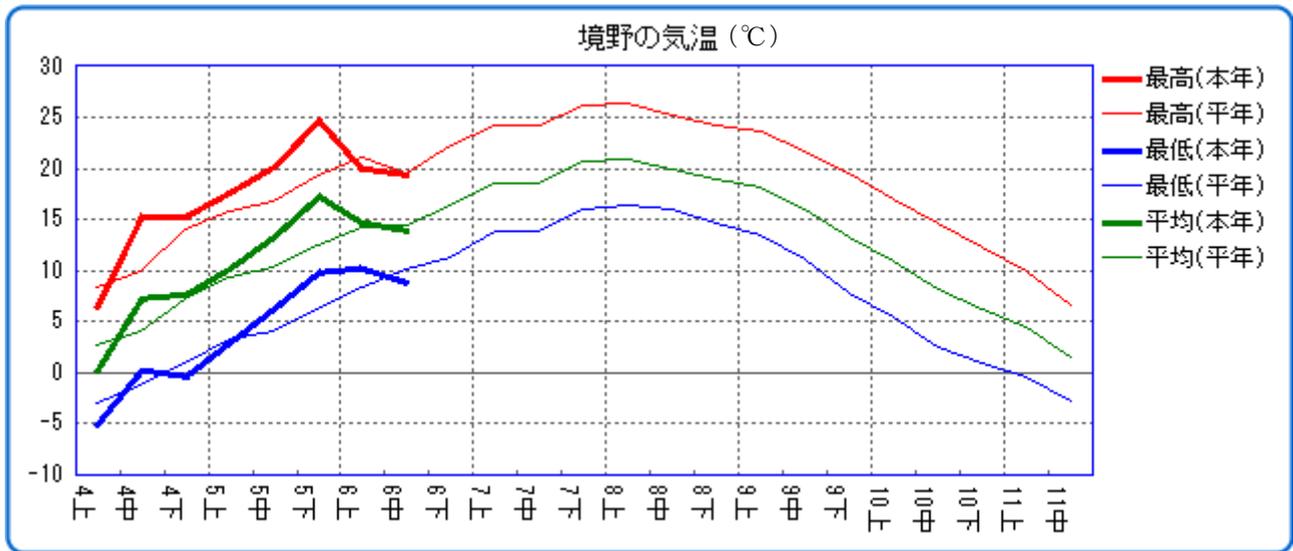
気象表

月旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
5月下旬	17.3	12.5	4.8	24.7	19.4	5.3	9.7	6.2	3.5
6月上旬	14.6	14.3	0.3	19.9	21.0	-1.1	10.2	8.3	1.9
6月中旬	13.9	14.5	-0.6	19.4	19.6	-0.2	8.7	10.1	-1.4

月旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
5月下旬	30.5	15.3	15.2	75.2	68.8	6.4
6月上旬	26.0	20.6	5.4	38.5	61.4	-22.9
6月中旬	36.0	35.1	0.9	49.9	49.6	0.3

注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：やや良

事由：5月下旬の平均気温は平年より極めて高かったため生育が進み、出穂期は平年より7日早い6月1日であった。草丈は平年並で、茎数は平年を上回った。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	きたほなみ		
	本年	平年	比較
出穂期 (月.日)	6.1	6.8	△7
草丈(cm) (6月20日)	90.1	91.9	△1.8
茎数(本/m ²) (6月20日)	917	706	211

注) 平年値は前7か年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 春まき小麦 作況：平年並

事由：5月下旬の気温が極めて高かったため、前報に引き続き生育は進んでおり、出穂期は平年より6～7日早かった。草丈は平年より高く、茎数は平年よりやや少なかった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (月.日)	6.15	6.21	△6	6.13	6.20	△7
草丈(cm) (6月20日)	76.1	69.6	6.5	75.9	69.4	6.5
茎数(本/m ²) (6月20日)	755	813	△58	668	809	△121

注) 平年値は前7か年中、平成27年(最豊)、29年(最凶)を除く5か年の平均。

3) とうもろこし 作 況：良

事 由：播種は平年より1日早い5月15日に行った。播種後5月下旬の気温が極めて高く推移したことから出芽期は平年より2日早い5月28日であった。出芽後は平均気温が平年並からやや低く推移したものの、6月20日現在の草丈は平年より6.0cm高く、葉数は1.8枚多い。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.15	5.16	△1
出芽期 (月.日)	5.28	5.30	△2
草丈(cm) (6月20日)	37.3	31.3	6.0
葉数(枚) (6月20日)	6.5	4.7	1.8

注) 平年値は前7か年中、平成29年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

4) 大 豆 作 況：やや良

事 由：播種は平年より2日早い5月20日に行った。播種後の適度な降雨と5月下旬の高温で、出芽期は平年より5日早かった。出芽後も生育は順調で、主茎長、本葉数とも平年をやや上回って推移している。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.20	5.22	△ 2
出芽期 (月.日)	5.29	6. 3	△ 5
主茎長(cm) (6月20日)	11.8	11.2	0.6
本葉数(枚) (6月20日)	1.1	0.8	0.3

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

5) 小豆

作況：平年並

事由：播種は平年より2日早い5月20日に行った。播種後の適度な降雨と5月下旬の高温で、出芽期は平年より5～6日早かったが、出芽後の気温は平年並みからやや低く推移したため、主茎長、本葉数ともほぼ平年並で推移している。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ			きたろまん(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.20	5.22	△ 2	5.20	5.22	△ 2	5.20	5.21	△ 1
出芽期 (月.日)	6. 1	6. 7	△ 6	6. 2	6. 7	△ 5	6. 2	6. 4	△ 2
主茎長(cm) (6月20日)	3.7	3.7	0.0	3.6	3.8	△ 0.2	3.6	3.9	△ 0.3
本葉数(枚) (6月20日)	0.3	0.4	△ 0.1	0.3	0.4	△ 0.1	0.2	0.4	△ 0.2

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。
ただし、きたろまん(参考)は、前5か年(平成26～30年)の平均。

6) 菜豆

作況：やや良

事由：播種は平年より2日早い5月20日に行った。播種後の適度な降雨と5月下旬の高温で、出芽期は平年より5日早かった。出芽後も生育は順調で、主茎長、本葉数とも平年をやや上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.20	5.22	△ 2
出芽期 (月.日)	5.30	6. 4	△ 5
草丈(cm) (6月20日)	11.2	10.7	0.5
本葉数(枚) (6月20日)	1.1	0.7	0.4

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：やや良

事 由：植え付けは平年より1日早い5月10日に行った。植え付け後の平均気温が高く、萌芽期は平年より4～5日早かった。初期生育は良好で、6月20日時点の茎長は平年より3～5cm長かった。茎数はほぼ平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ			コナユタカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	5.10	5.11	△ 1	5.10	5.11	△ 1	5.10	5.11	△ 1
萌芽期 (月.日)	5.28	6. 1	△ 4	5.28	6. 2	△ 5	5.30	6. 4	△ 5
茎長(cm) (6月20日)	25.4	22.3	3.1	27.6	22.4	5.2	16.6	12.3	4.3
茎数(本/株) (6月20日)	4.0	3.8	0.2	3.0	3.1	△0.1	2.7	2.7	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

8) てんさい 作 況：やや不良

事 由：生葉数は平年並であったものの、草丈、茎葉重、根重ともに平年を下回った。5月中旬の乾燥と、5月20日を中心とする数日間の風速10m以上の強風の影響で、生育が抑制されたと推測される。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	移植						直播		
	リッカ			アマホマレ			リッカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	23.8	26.9	△ 3.1	23.6	28.1	△ 4.5	12.7	13.7	△ 1.0
生葉数(枚) (6月20日)	11.3	11.5	△ 0.2	11.3	11.8	△ 0.5	7.1	7.9	△ 0.8
茎葉重(g/個体) (6月20日)	57	102	△ 45	49	112	△ 63	10	13	△ 3
根重(g/個体) (6月20日)	10	18	△ 8	11	27	△ 16	1	1	△ 0

注1) 平年値は前7か年中、26年(最豊)、平成28年(最凶)を除く5か年の平均。

9) 牧草(チモシー)

作況：不良

事由：1番草の出穂始、出穂期は平年より5～6日早かった。そのため、地上部の伸長は早期に停止し、草丈は平年より15cm低かった。収穫は平年より9日早い6月10日に行い、乾物収量は平年比77%であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	なつちから			
	本年	平年	比較	
出穂始 (月.日)	6. 5	6.11	△ 6	
出穂期 (月.日)	6.10	6.15	△ 5	
出穂程度 1番草	5.3	7.6	△2.3	
収穫日 (月.日)	6.10	6.19	△ 9	
倒伏程度 1番草	1.0	1.0	0.0	
病害罹病程度 1番草	1.0	1.0	0.0	
草丈(cm)	(6月5日)	74	75	△ 1
	1番草	85	100	△ 15
生草収量 (kg/10a)	1番草	2013	2698	△685
乾物率 1番草	22.8	22.1	0.7	
乾物収量 (kg/10a)	1番草	459	593	△134
同上平年比 (%)	1番草	77	100	△23

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最豊)、27年(最凶)を除く5か年の平均。

出穂程度は、1：極少～9：極多。

倒伏程度および病害罹病程度は、1：無または微～9：甚。病害は主に斑点病。

10) たまねぎ

作 況：良

事 由：移植後の5月中下旬の平均気温は平年より高く推移し、適度な降雨もあったことから、活着は良好で、生育は順調であった。早生種「オホーツク 222」では、草丈および生葉数は平年をやや上回り、葉鞘径は上回っている。中生種「北もみじ 2000」では、草丈、生葉数および葉鞘径のいずれも平年を大きく上回っている。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	オホーツク222			北もみじ2000		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	51.3	46.7	4.6	46.3	36.5	9.8
生葉数(枚) (6月20日)	7.6	6.7	0.9	7.3	5.8	1.5
葉鞘径(mm) (6月20日)	14.5	12.5	2.0	12.5	9.8	2.7

注) 平年値は前7か年中、平成25年(最凶)、28年(最豊)を除く5か年の平均。